

★仏教婦人会連盟実践運動研修会Ⅱ開催

去る二月二十二日（木）午後二時から高岡教区仏教婦人会連盟実践運動研修会Ⅱが開催された。テーマは『平和への願いを声に』で、ご講師は立川証さん（川上組浄教寺住職）により行われた。

まず、ご講師からの講義の冒頭で、「沖縄を知ってもらいたい」ということと、「声に出すということが大切である」ということ二点をお伝えしたいと述べられた。

そして、沖縄の歴史、

二〇二二年に沖縄が米国から一九七二年五月十五日に返還されて五十年が経ったこと、また「沖縄」という呼び方、「琉球」という呼び方、この違いがあることを述べられた。米国統治時代は、敢えて「琉球」という呼称で呼び、日本国と切り離したという意図的な構図があった。しかし、沖縄、現地の方々が、沖縄のことを



「琉球」と呼ぶことには特別な思いがそこに内在されていると指摘された。

太平洋戦争時は、本土決戦の時間稼ぎのために、沖縄が使われ二十万人が犠牲となった。そのなかでも一般の方は九万人で、圧倒的に一般の方が亡くなったのが沖縄戦であった。また自決された方も多いが、これを自決とは言わないで欲しい、これは集団強制死であると述べられた。また、沖縄の信仰や浄土真宗も説明され、真宗寺院が設立母体の積徳高等女学校のふじ学徒隊・衛生兵補助二十五名には、隊長が「必ず生きて帰れ」と声を掛けられたことを紹介され、二十五名中三名だけがお亡くなりになられた。ご講師は、お国のために強制死をさせられていたかもしれない、しかし、「必ず生きて帰れ」と生きることが大切だと、声に出せたということが命をつなげていけたことにつながったのだと思いますと締めくくられた。

講義の後半では、沖縄の歌である「島唄」、「海の声」、「童神」、「島人ぬ宝」を講師自らが披露され、最後には参加者全員で「海の声」を合唱し、研修会は終了した。

▼令和六年能登半島地震により倒壊した

鐘楼堂の撤去事業へ

二月二十八日、浄土真宗本願寺派のお寺で七尾市にある蓮照寺さんへ赴きました。

今回のボランティアは、宗派能登半島地震支援センターから協力依頼のあったものです。

寺族青年会からは五名の参加がありました。

当日は寺族青年会会員だけでなく、金沢別院に設置された能登半島地震支援センターと岐阜教区の方々と力を合わせ、撤去作業を行いました。

作業は半日ほどでしたが、協力して屋根に登り瓦を剥がし、ボールやハンマーを使い解体作業を進めました。

現在、震災から二か月が経とうとしています。現地へ向かう道中、倒壊した家屋や地割れを起こした道路を目の当たりにし、今なお避難生活を余儀なくされたり、先行きが見通せない生活は、想像を絶する厳しいものであると切に感じることでした。

様々な支援団体が活動する中、私たち寺族青年会も一日でも早く日常を取り戻せるよう、引き続きお互いに助け合い、この難局を乗り越えていきたいと思います。



高岡教区寺族青年会会長 村上昂文

※能登半島地震関係のご報告・情報について

二月十九日（月）開催の第二回高岡教区災害対策委員会において次のことが決定されたのでお知らせいたします。

- ①現在、複数の教区内団体によってボランティア活動が行われているが、その活動に対して皆さまから頂戴した支援金・義援金の中から援助する。（金額については相談し決定）
- ②ご門徒さまの住宅被害状況（公の判断で「全壊」と判断されたもの）を確認する。

◇御同朋の社会をめざす運動のコーナー

第二回中央委員会を終えて

先日一月二十九日（月）本山伝道本部にて令和五年度 第二回「御同朋の社会をめざす運動」中央委員会がWeb会議にて開催されました。

始めに事務局より重点プロジェクトの現状についての報告と、実践運動人権啓発推進僧侶研修会と実践運動推進協議会の開催状況が報告されましたが、特に僧侶研修会については全教区であまりに開催数が少なく、二名の委員より現状はどうなっているのか、開催する気がないのでないかと質問が出ました。それに対して社会部（人権問題担当）部長の方より助成金の交付を取りやめた事が一因ではないかという回答がありました。基幹運動時代から僧侶研修会を欠かしたことがない高岡教区としては、運動が途切れた原因はどこにあるのか、またこうした運動停滞による弊害を憂います。開催数の数を心配するのではなく、研修会の意義を見失っている教区があるという事に対して一種の怖さを感じました。続いて協議事項として次期御同朋の社会をめざす運動総合基本計画及

び重点プロジェクトの策定についての最終案の発表がありました。次期四年間の運動方針を決める極めて重大な事項ですが、総合基本計画の文言は今期までと大きく変わったものの、重点プロジェクトは「貧困の克服に向けて」Dana for World Peace「子どもたちを育むために」をそのまま踏襲するというものでした。これは昨年九月の第一回中央委員会において（試案）を提示し、全教区へ意見聴取、それを元に十二月には常任委員会において協議を重ね、今回最終案として協議事項に挙げられました。しかし、今回を含む三回の協議を経ても内容には当初案より大きな変更はなく、語句や文言を言い換えるだけで根本的な変更はありませんでした。高岡教区としては昨年の第一回中央委員会にて意見具申を提出し、現行の重点プロジェクト「貧困の克服に向けて」Dana for World Peace「子どもたちを育むために」の見直しを提言し、他の委員からも「平和問題への取り組みとしては違和感」「募金そのものも上手くいっていないのが現状。内容を修正すべきでは」という意見も複数出されたのですが、全く反映されることはありませんでした。

最後の協議事項として、福岡教区から提出された意見具申についての協議がありました。意見具申の内容は以下の三点です。①「戦後問題検討委員会答申」とその後の総局の対応策をまとめた冊子の発行を求める。②浄土真宗の救いのよるこびの再掲載を求める。③宗報と本願寺のHPに意見具申の掲載を求める、というものでした。

特に①について基幹運動時代に宗門が戦後問題検討委員会を設置しその「戦後問題検討委員会答申」の検討がブックレットに掲載されてきました。しかしそういった「基幹運動ブックレット」も廃版となり住職、門徒の世代交代が進む中、その取り組み自体を知らない者も多くなった

ことから、冊子の発行をすることは重要です。基幹運動の理念が若い世代に継承されていない今、宗門として非戦反戦の意思をはっきりと世間に示すべきではないかと思われれます。しかし、総務からは「一九九六年の答申をそのまま今の時代に当てはめて活用する」ということは少し現実的には違うような感じもしますので」という回答がありました。しかし、正しい視点というものはいくら時代が変わっても正しいものであり、時代にそぐわないなどというのはあてはまらない思われます。基幹運動時代のブックレットが廃版となったのも、時代にそぐわないという考えからでしょうか。運動の理念を学ぶべき若い世代のお手本が消えていくことは誠に残念でなりません。結局は他の二点についても応じられないという旨の回答でした。

コロナ禍、また予算が無いなどといろいろな障害の中、中央委員会もWeb会議のみの二年間でした。

お互いの抱える課題を共有し、皆で意見を出し合い、それを教区、組、また個人に伝え、共に「御同朋の社会をめざして」Ⅱ「差別被差別からの解放」を目指すというのが中央委員会の目的であったのではないかと思います。

果たしてどこまで実現できたでしょうか。協議と言いながらその内容はトップダウンの報告のみで話し合いは一部の委員のみでした。次年度からの会議はWebではなく、せめてお互いを感じられるような会議となることを切に願います。

【中央委員・高岡教区委員会副委員長 城野至界】

◇これからの日程（3/14～4/25）◇

3月	教区・財団行事	教化団体・組行事
14	常例法座 教区常任委員会	少年連盟指導者研修会
15		仏婦執行部会 重プロリーダー研修協議会
18	聖典セミナー	
21		布教団役員会 ヤスクニ専門委員会
22		仏婦第3回常任委員会
25	教区委員会全体会	講社50周年大会（～26）
28	教区会	特別法務員研修会・講習会
29		門推研修協議会
4月		
14	常例法座	
19	臨時教区会	
22		仏婦第1回常任委員会
23	組長会	
24		仏婦総連盟総会（～25）

高岡教区能登半島地震義援金・支援金について

令和6年能登半島地震により被災された皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。

さて、高岡教区では、災害対策委員会の議により、義援金・支援金を受け入れる郵便振替口座を下記の通り開設いたしました。また、教務所でも受付しております。

募金の名称 「高岡教区能登半島地震義援金・支援金」

郵便振替 00700-0-38050

加入者名 高岡教区災害対策委員会

ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送（KNB）・738kHz.

□第2・4日曜日（富山・高岡制作）午前6:00～6:10

●4月14日（日）

未 定

（高岡教区）

●4月28日（日）

未 定

（高岡教区）

※高岡教区及び富山教区が主催し、北日本放送（KNB）にて毎週日曜日午前6時から放送しております「西本願寺の時間」は、放送を継続しております。

また、西本願寺では、動画配信サイトを設置し法話等を配信しております。ご視聴ください。

<https://broadcast.hongwanji.or.jp/>



【西本願寺高岡会館4月の常例法座】

ご講師： **野世阿弥師**

（福井教区福井組光壽寺）

ご講題：『 **未 定** 』

午後1時20分頃からビデオ上映、2時からお正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘いあわせてお参りください。